

山本助産院だより

2015. 3

236-0031
横浜市金沢区六浦 2-14-12
TEL 045-788-6601

<http://www1.seaple.icc.ne.jp/utako-y/>

お知らせ

◆藤田伸二医師による乳児健診が助産院地下であります。
3月19日(木)①13時～②14時～
15時からは藤田先生を囲んでのQ&Aのコーナーがあります。
料金は3000円(横浜市補助券の対象です。)
予約は、助産院までお待ちしております!

* 詩子のつぶやき * vol.40



小学校時代の担任の先生からのハガキ
小学生時代の同級生達と会う機会があり4人で撮った写真を当時担任だった先生にコメント付きのはがきにしてお送りしました。
駅長・歯科技工士・教員・助産師それぞれに成長?し間もなく還暦を迎えようとしています。「私達こんなに大きくなりました」と浦島太郎の玉手箱を開けたような写真を見た先生から嬉しいお返事が届きました。

「私達こんなに・・・」の写真はがきをいただきました。「こんなに・・・」と驚く一方、すぐ昔の面影が浮かんできました。
そして「そのままだ・・・」の言葉も飛び出しました。不思議なものです。あなた達とエネルギーに過ごした昔の日々を思い出し、幸せを感じています。
私の方は小さくなりました。頭も涼しくなりました。もっぱら家の中の生活になり、『ああ「反比例」とはこのことか』と思っています。
今の時代を背負っている人たちなんですね。自と他の幸せのためにがんばって下さい。 富澤 晃

同級生達とも久しぶりの再会でしたが、まるでずっと同じ時を過ごしてきたかのような、親しみと懐かしさがあります。長い人生それぞれに色々なことがあったことでしょう。その長い時を超えて、また出会えることの幸せを感じています。
6年生の担任の先生とは、お年賀状のやり取りが今だに続いています。先生はいったいおいくつになられたのでしょうか?
もう40年以上もお会いしていませんが、先生のお姿は、その当時のまま私の記憶に留まっています。面影そのままでしょうか?私達こんなに大きくなりましたと、お伝えできるのも至福の喜びです。富澤先生にお会いしてみたいものです。

里芋の煮っころがし

♪助産院
レシピ

材料
里芋 500g
白だし 小1
醤油 大3
砂糖 大3



作り方
①皮をむいた里芋を鍋に入れ、白だし、醤油、砂糖を全体に絡めて強火にかける。
※水は入れない。
②煮詰まったら、水を里芋ひたひたに入れ、落し蓋をして中火で煮る。
③柔らかくなったら出来上がり。

第6回 歩こう会 開催します!

歩こう会は、春と秋、年2回行っています。今年で3年目になりました。
朝比奈切り通しのトレッキングです。この道は、鎌倉時代に物資流通ルートとして往来が多かったそうです。特に塩は、生活に欠かせない重要な物資。六浦の塩工場で作られた塩を商人たちが運んだソルトロード(塩の道)とも言われていました。
途中鎌倉の鬼門の守り神として建てられたといわれる熊野神社でお参りをします。峠を下った後は、昼食をとり、報国寺(竹寺)にお参りして自由解散となります。
全行程約4時間程。おしゃべりしながら鎌倉の新たな魅力が発見できます。
是非一緒に歩きましょう!!
日時: 3月17日(火) 10:00~15:00
(雨天時3月27日(金)に延期)
参加費: 1000円
その他、お問い合わせ・お申し込みは山本助産院までご連絡ください。



学生から♪

詩子先生をはじめとする人間味あふれるスタッフの方々や、温かく受け入れて下さったママや赤ちゃん、ご家族の皆さまのおかげで、助産ケアだけでなく助産師という仕事の楽しさや、人として大切なことをたくさん学ぶことができました。本当にありがとうございました。よく食べ、よく笑った幸せな6週間でした(*^_^*)♪



国際医療福祉大学大学院
相馬悠 吉田みゆき

〜リレー随筆〜

喜多 今日子

三児(長男9歳 次男4歳 長女2歳)の母。山本助産院で調理のお手伝いをしていたことも。

次男は昭和のニオイがプンプンするザ・子ども。こちらの心と時間に余裕があれば、見ていて本当に面白い。
けれど、喜怒哀楽が激しく、「もうイヤだー!」「おまえなんか嫌いだー!」「ビエーン!」と大声で泣き叫ばれると「うるさい!」とこちらも思わず叫んでしまいます。
この次男のやかましい泣き声を聞けば、100人が100人不快に思うだろうと思っていたのですが、長男は全く気にならない様子でマイペースに読書や宿題をこなし、末娘は「どうしたの?よしよし。」と次男の頭をなでなで。夫は「そんなに思い切り泣けてうらやましいなあ。俺も職場で、「もうイヤだー!」とか言ってみたいよ。」なんて、私からすれば目からウロコのリアクション。そして散々怒られても、最後には「お母さん、大好き」と言ってくれる次男。
神様、仏様、天使様はこんな近くにいたのか!?と思わずにはられません。些細なことで、心乱されてしまう私は、まだまだ未熟者。
今しかない子どもとの大切な時間をもっと楽しまなくてはもったいないですよ!